

## コンソーシアム・グループ活動記録

日 時：2005年12月13日(水) 10:00~14:00

場 所：駒澤大学(世田谷キャンパス)

参加者：小野(東邦大学) 伊藤(立教大学)

### 内容

#### 1 グループ内リハーサル

研究報告大会では、人材育成、リスクマネジメントおよびコンソーシアムの3つの研究グループごとに発表を行う。コンソーシアムの発表部分について、グループ内リハーサルを行った。それを基に発表原稿、パワーポイント原稿の見直しを行った。

<検討・見直した事項>

- (1) 副題である「コンソーシアムを成功させるには - Tamp Bay Library Consortium の事例を参考に - 」を変更する。検討の結果、最終的に「コンソーシアムを成功させるには」の部分削除し、単に「Tamp Bay Library Consortium の事例に学ぶ - 」とする。
- (2) 上記(1)を受けて、スライドの「TBLC に学ぶ成功の秘訣」を「TBLC 成功の鍵」と変更した。TBLC の事例から発展的にコンソーシアム全般にわたる提言を行うという論旨から、TBLC の事例に重点をより置いた形の論旨とする。これに併せて発表用原稿の修正を行った。
- (3) 最後の「図書館コンソーシアムのこれから」の部分については、TBLC の事例から日本の大学図書館にどのように言及するかについて検討を行った。
- (4) 上記(1)~(3)を基に発表用原稿とパワーポイントの修正を行った。

#### 2 分科会全体リハーサル

パブリックサービス研究分科会としての全体リハーサルを実施した。その結果、メンバーから以下のようなフィードバックがなされた。

- (1) プレゼンの構成が良く、とてもわかりやすかった。
- (2) 数多くあるコンソからなぜ TBLC を事例として選んだ理由は何か、
- (3) TBLC は様々な館種が集まっているようだが、その中で大学図書館がどのような役割や関わりをし、リーダーシップ(もしとっているなら)をとっているのか興味がある。
- (4) アメリカでは当然、先進的なコンソは数多くある。それが日本に普及しづらいのはなぜか? そこを追求して改善ポイントを明らかにしてほしい。そうでないと「そんなコンソがあるのか、ふーん」で終わってしまうと思う。

#### 3 まとめ

メンバーからのフィードバックを参考に、21日の研究報告大会まで更に発表原稿、パワーポイントの検討を行い、研究報告大会にのぞむこととした。 以上